

平成 29 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	中央台鹿島のぞみの会 (地区に居住する 50 歳以上の会員 によって組織された老人クラブ)	代 表	会長 馬上 勲 (もうえ いさお)
地域 (市町村)	浜通り (いわき市)	加入人数	43 人

(1) 主な活動

- 1.住民との交流：地域小学校の土曜学習への参加、夏祭り盆踊り及び売店の参加
- 2.見守り活動：地域小学校登下校児童の見守り、地域高齢者への訪問活動
- 3.健康づくり活動：ミニ運動会の開催、週 2 回ターゲット・バードゴルフの実施
- 4.地域づくり活動：地区内公園・道路のゴミ拾い、除草・植木の剪定、トイレ清掃ほか

(2) 特徴

平成 4 年に地域の老人クラブとして、いわき市ニュータウン内に発足した。老人クラブとしての活動の他にも、地域社会に還元していきたいという思いを基に様々な活動を行っている団体である。

(3) 今年度実施事業

福島県高齢者支え合いコミュニティ支援事業

(4) 事業の主な活動内容

- ・のぞみサロンの開設
月 2 回程度、地区パークセンター（公民館）にてカラオケ・将棋やコーヒーの淹れ方講習、オカリナ・詩吟・着付け教室など幅広く実施して、気軽に立ち寄れる場を作る。特に地域の 1 人暮らしの高齢者や他町村からの転入者を対象とする。
- ・地域づくり絆づくり
上記の活動の中でも「地域づくり活動」における清掃活動を活性化し、地域社会へ還元のため公園の清掃を行う。

(5) 本活動を実施することの背景

年々地域における高齢者の増加により、「地域の元気」が失われてきているのが当団体でも実感することである。当会において交流の場を設けて、住民のふれあいの機会を多く作り活性化を図りたい。

<地域と連携した老人クラブとして>

会員の皆さんは口を揃えて、「こんなに楽しい会活動なのだから、ぜひ地域の皆さんに参加してほしい」と笑顔で話される。また会員の中には震災の影響で避難されこの地域に移り住んだ方もおり、同じ地域に暮らす一員として意欲的に会活動を行われている。一時は 150 名を超えた会員数も、現在ではその 1/3 となり他団体と同様にその減少が課題である。しかしながら、現在の会員でも他の団体と更なる交流や連携をしつつ、一人暮らしの方への訪問なども行っていきたいと意欲的に話されていた。

①役員のうち、お話を伺った皆さん。前列中央が会長の馬上勲さん。



②毎月 1 回役員が顔を揃え、直近の行事の報告及び計画等を話し合う。



③年 1 回地域の小学校を訪れ、会員との交流を図る。その際に小学生から「お礼の手紙集」が 1 冊の本として贈られた。

